

市の魅力を発信する広報特派員を募集

申し込みは2/26(金)まで



市では、来年度の広報特派員を募集します。カメラが好きで、裾野が好きでたくさんの人に魅力を発信したい人、広報特派員として活動してみませんか。

取材して市の魅力を発信

広報特派員は、市内で行われるイベントを取材したり、景色を撮影したりし、市内各地の魅力や情報を広報すそのや市公式SNSで発信します。

取材・撮影から掲載までの流れ

取材・写真撮影に行きたい日を
戦略広報課に連絡・調整

取材・写真撮影

記事を作成し、写真と共に戦略広報課に提出

戦略広報課が内容を確認し、
広報すそのや市公式SNSに掲載

掲載場所

広報すその



市公式フェイスブック



<https://www.facebook.com/city.susono>



カメラが好きな約10人を募集

任期／4月1日(休)～令和4年3月31日(休)

対 市内に住んでいるか通勤・通学している15歳以上の人で、デジタル一眼レフカメラをお持ちの人または常時使用できる状態（家族のカメラなど）の人

定 10人程度

申 申込用紙に必要事項を記入し、最近撮影したお気に入りの写真（2L版）2枚を添付して戦略広報課に提出してください。

期 2月26日(金)

☎ 戦略広報課 995-1802

住宅用火災警報器の設置で火災から命を守る

3/1(月)～7(日) 春季全国火災予防運動週間

昨年中に富士山南東消防本部管内で発生した24件の建物火災のうち、9件が住宅火災でした。

全国の火災による死者の約7割は住宅火災によるものです。住宅用火災警報器の設置は、火災から大切な命を守ります。空気が乾燥し火災の発生しやすいこの季節、今一度、火災への備えを再確認しましょう。

令和2年中の富士山南東本部管内火災件数

単位：件、（ ）は対前年比

	三島市	裾野市	長泉町	合計
建物火災	15 (+4)	8 (±0)	1 (-5)	24 (-1)
林野火災	2 (+2)	0 (-1)	0 (±0)	2 (+1)
車両火災	2 (+2)	3 (-4)	3 (±0)	8 (-2)
その他の火災	5 (+3)	4 (+1)	1 (-1)	10 (+3)
合計	24 (+11)	15 (-4)	5 (-6)	44 (+1)

自宅に住宅用火災警報器はついていますか

住宅用火災警報器は、寝室に設置が必要です。寝室が2階にある場合は階段にも設置が必要になります。

設置済みの住宅用火災警報器を点検しましょう

火災時にきちんと作動するように、定期的に警報音の確認をしましょう。テストボタンを押すか、ひもを引くことで確認できます。

10年を目安に本体交換をお勧めします

古くなると、電子部品の故障や電池切れによって、火災を感知しなくなることがあります。

住宅用火災警報器の取り付け支援を行います

住宅用火災警報器を自身で取り付けるのが困難な高齢者世帯を対象に、消防職員が自宅を訪問し、設置の支援を行います。詳しくは富士山南東消防本部予防課へお問い合わせください。

※消防本部では住宅用火災警報器の販売は行っていません。

☎ 富士山南東消防本部予防課 972-5802